

報窓会同 第一高等学校 法政大学

発行所 法政大学第一高等学校同窓会 電話0422-22-8131代

発行人 岩村元雄 東京都武蔵野市吉祥寺東町3-5-7

(題字は馬場校長筆)

昭和53年10月16日 (土) 第3号

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり連絡を密にし、互助の実をあげることとを目的とする。(条2第約規)

昭和五十三年度

方針とご挨拶

同窓会々長

倉沢豊丸



会員諸氏には益々ご健勝にてご活躍のこと存じお慶び申します。母校同窓会会員諸氏の「同窓会発展計画の願い」のもと去る昭和五十三年六月二日総会開催準備委員長中村雅明氏、副委員長大木興氏始め各学年会員有志の積極的な協力に依り母校体育館で昭和五十二年年度総会を大学総長中村哲先生始め諸先生の来賓を迎えて盛会裏に開催し、その席上、母校現校長馬場昌平先生を名譽会長に推戴、新役員執行部を選出、前会長松本一磨氏の懸案である「母校と同窓会の一体」の基礎が位置づけられ、昭和五十三年度同窓会が「会員諸氏の願い」をこめて新しく出発したのであります。

そして総会で決議した諸事項を役員執行部諸氏、この度会長に推挙された私を中心に尽力され、既に御案内の通り本会始めての同窓会々報を発行し、更に母校を卒業する生徒諸君に記念品を贈呈、又在校生と同窓会との懇談会開催並

びに会員の名簿整理充実発行の準備として会員クラス会の役員執行部の出席誘等積極的な運営につとめ、昭和五十三年度は会則に基き、代表委員の賛意を得て昭和五十三年六月十日「委員総会」を以て昭和五十三年総会にかえ昭和五十三年年度の同窓会事業を運営しているのであります。

昭和五十三年度の事業としては前年度の基本的諸事業の遂行充実を計ると共に本年度は昭和五十四年度を迎えるに当り全会員案内出席のもと「総会」を開催して一層の同窓会発展計画の実をあげたい

と方針を立てています。そして切角確立しつつある同窓会が未永く会員諸氏の「心の糧」となるよう念願するものであります。

同窓会員も年々増し只今では一万人以上の会員数となりました。仕事の関係上全国各地に居住し母校より遠くなっている会員諸氏もあることと思ひます。同窓会を通じて会員相互の親睦、母校への協力が出来れば幸甚なことと存じます。

今後共同同窓会へ一層の御協力ご支援の程をお願いし、同窓会が益々各々の力で発展することを念じます。

昭和五十四年度

総会準備委員長決る!

同窓会副会長

野村光一



五十四年度総会の開催に当り、役員会のご推挙と、委員総会のご承認により、総会準備委員長の重責に選ばれ、身に余る光栄であり、また、責任の重大さを痛感してい

昭和五十三年度

役員会委員総会議案

- 一、昭和五十三年度収支決算報告
- 二、昭和五十三年度事業計画実施状況報告
- A 同窓会名簿の作成
- B 同窓会々報の発行
- C 同窓会規約並びに同組則の検討改善
- D 五十二年度収支予算計画策定
- E 母校の諸行事に対する協力
- 三、昭和五十三年度運営方針について

- 四、昭和五十三年度収支予算計画について
- 五、慶弔見舞金規定について
- 六、昭和五十四年度総会準備について
- 七、その他

役員会開催

法政大学第一高等学校同窓会役員会は昭和五十三年六月八日(火)午後六時より渋谷のゴールデンホールに於て開催されました。当日は母校から馬場昌平校長、

参りした時、三つの願望を、その一つとして、来年の同窓会総会が成功裡に終ることが出来るように祈つて参りました。この時、歴代の大僧正の中で、人格、執権とも最も秀でていたといわれる三池大僧正の墓所についてまいりましたが、墓誌に次のことが記されてあります。「余の一世は、事業を完成させることにあり」と……宗教家として、信仰をむねとしながら、寺の経営を一つの事業として、その一生を捧げ、今日の成田山新勝寺の基盤をつくったことの偉大さを、感じないわけにはありませんでした。吾が法政一高同窓会も、同窓生の相互の親睦を図り互助の実を

とつて参ります。同窓会の諸事業も計画され、逐次実施に移されておりますが、総会も同窓会の大きな事業の一つであります。

「あげること」をむねとすることが本来的な目的であります。同窓会としての事業の隆盛も、是非必要であると強く感じたところであります。同窓会の諸事業も計画され、逐次実施に移されておりますが、総会も同窓会の大きな事業の一つであります。この「事業の完成」のため、全力投球で尽力してまいらる覚悟でございますので、役員各位、各委員諸氏の方々の、ご格別なご理解とご協力により、立派な総会が行なわれますよう切にお願い申し上げます。就任のご挨拶とします。



事務局の万代治郎先生が出席され、同窓会執行部及び五十三年度卒業の新組委員を招待して、一週間後に控えた委員総会の議案に対して充分なる討議が行なわれました。当日の出席者は左記の通り(敬称略)倉沢豊丸、馬場昌平、中村雅明、野村光一、井沢雄蔵、西沢稔威雄、万代治郎、大木興、桜井勇、山田舜一郎、積田見孝、岩村元雄、加藤喜一郎、松崎和夫、赤沼啓一郎、伊藤三明、北岡正剛、正田耕一。

昭和五十三年度

委員総会開催

昭和五十三年度委員総会は、本年六月十六日(金)午後六時より市ヶ谷の私芸会館に於て開催されました。当日は馬場校長をはじめ、同窓会執行部、委員四十六名が出席、議案に対して熱意あふれる討議が行なわれました。当日出席者は左記の通り(敬称略)

倉沢豊丸・中村雅明・斎藤英雄・野村光一・井沢雄蔵・大木興三・浦一郎・峯谷恭二・宮本義純・木村有明・積田見孝・井上泰賢・上田三代治・西沢俊成・倉島俊二・吉田和男・岡本弘・國分紀久・片岡秋夫・川中政治・加藤喜一郎

・桜井勇・松崎和夫・石川誠・奥野照・福島光男・根本光・星野恒雄・河合顕二・吉岡源一郎・石井惣治・山田富蔵・岩村元雄・常深一成・赤沢啓二郎・梅本喬・内藤悦孝・東条忠彰・坂村雄介・斎藤純一・大場征一・田中勉・林義直・戸井田純一・根本哲郎・平田陽一・須崎賢一・中村実・伊藤三明・北岡正剛・正田耕一

議事に先立ち馬場校長より法政一高の近況報告があり益々充実をはかる同窓会へ讃辞が寄せられた。議事に入るに当り恒例により議長に倉沢会長が選出された。

委員総会議事

法政大学第一高等学校同窓会昭和五十三年度委員総会は倉沢会長・中村 斎藤 野村 井沢四副会長の議長団選出によって議事が進行されました。

第一議案
「昭和五十三年度(和昭五十二年四月一日)昭和五十三年三月三十一日)収支決算報告
大木財務委員長より別掲決算書の通り報告説明があり万場一致で可決承認されました。

第二議案
「昭和五十三年度事業計画実施状況報告」

確かな同窓生となっている。昭和三十五年(四十四年卒業)が一番名簿が不確実である。最近の卒業生は明確であるが発行部数に限りがあるので出来るだけ先輩に敬意を払う様にして送附して居ります。

C 同窓会規約並びに同細則の検討改善、加藤総務副委員長より昨年の総会に於て校長を名譽会長に、副会長を二名(四名に増員して)学校と同窓会のきずなを高層強め、会長の重責を補佐し同窓会運営をなお強固なものにした。同窓会事務局の住所変更を改正した。

D 五十二年度収支予算計画の策定、大木財務委員長より五十二年度の大きな事業は十三年振り(盛)に開催された総会と事業方針として打出された五方針によって母校の発展を願ひ、同窓生相互の親睦を図り互助の衷をあげていく事をテーマに推進した結果会報の発行をみる事が出来た。

E 母校の諸行事に対する協力
中村副会長より五十二年度の協力をとじては総会時に募金二十万円を寄贈、卒業生に対して五十二年の名簿と記念品としてシャープペンシルを贈呈した報告があった。

第三議案
「昭和五十三年度運営方針について」
役員の変更、改選について
「会長より昭和五十三年度

の役員については同窓会規約・並びに同内部規約に基づいて更、改選を行うので以下各項の説明がありました。

(イ) 会長、副会長
規約第四条により任期は二年となっており、五十四年度総会までの任期となり、従って更、改選を行います。

(ロ) 執行部、各委員長、各副委員長
(ハ) 顧問、参与、相談役
(ニ) 理事
規約第四条により任期は一年となっており、五十三年度総会にかわる委員総会の期日をもって更、改選を行います。選出に当たっては細則(三)にもとづき委員(代表委員)の承認を得て会長が委嘱いたします。

(ホ) 会計監査、会計
規約第四条により任期は一年となっており、五十三年度総会にかわる委員総会の期日をもって更、改選を行います。規約第五条にもとづき会計は会員の中から互選し、会計監査は会員の中から選出し更、改選を行います。

(ヘ) 学年代表委員、組委員
規約第四条より任期は一年となっており、五十三年度総会にかわる委員総会の期日をもって更、改選を行います。選出に当たっては規約第五条及び細則(三)にもとづき学年代表委員は(学年)との組委員の互選或は推薦による。又組委員は組の会員より互選或は推薦による更、改選を行います。高昨年度委員変更がある場合は至急事務局迄連絡を願ひます。

二、五十三年度事業計画について
(イ) 同窓会名簿の作成、発行
長年の念願である名簿の発行について田沢名簿委員長より次のスケジュールが説明された。

A 発行及び内容
a 昭和五十四年六月発行予定 A 5版 頁未定
b 掲載項目 氏名、郵便番号、住所、TEL、勤務先、TEL
卒業年次は年度別のため一括表示
c 領布価格(予定) 一冊三千円
内訳本体一千七百円、発送費五百円、事務処理費三百円、部数に対する不足負担金五百円
B 準備について
a 事務局にて名簿カードを整備中
b 充足のため委員総会にて名簿を配布し確認提出方を求める。
c 提出単位 クラス単位
d 委員会欠席者に対しては文書発送
e 領布方法及び申込について
a 前金(金額払込み) 銀行振込みによる予約部数をまとめる
b 申込受付期間 五十二年十月より五十四年一月まで
c 高、名簿作成についての基本方針は名簿作成に当っては、事務局が主軸となり資料の提供については会員相互の協力をお願いしたい。名簿作成には一切の広告を掲載しない。但し名簿発行に対し協力者を募り寄附を受け巻末に寄附者の名表付して報告する。
名簿発行については委員諸兄からも活発な建設的意見が述べられ会員の熱意が寄せられている事が示された。



(ロ) 同窓会々報の発行と充実
岩村総務委員長より昨年十月創刊致しました同窓会々報は本年三月第二号を発刊し同窓会々の皆様と母校を結ぶ唯一の情報機関としてご利用していただけて居ります。しかしながら未だ同窓会相互の連絡や母校の情報内容が不十分の点反省して居ります。今後母校の情報については座談会形式を定期的に開催する事によって、より充実化させて行きたいと思ひます。第三号は今秋発行の予定ですが同朋会、クラス会等の開催状況や編集へご希望等、その他何んでも原稿を募集致して居りますので皆様のご協力をお願い致します。

(ハ) 同窓会規約、細則の検討改善
加藤総務副委員長より五十二年に引続いて検討を行い実体に即した改善を図ってまいります。特に財政的な見地から、会費のあり方についても基本的な検討を加えてまいります。

(ニ) 同窓会と母校との連携交流
野村副会長より同窓会は母校の発展を願ひ、母校は同窓生が相互に親睦を図ってお互いが助け合っている。このことから同窓会と母校との連携を強化して相互の意志の交流を図り実のあるものにして行きます。

a 卒業式、文化祭、体育祭等学校行事への積極的参加
b 同窓会と母校との定期的な座談会の開催、テーマはその都度決定

昭和52年度決算報告書

(昭和52年4月1日～昭和53年3月31日)

法政大学第一高等学校同窓会

(単位 円)

項目	52年度予算	52年度決算	差異	備考
前年度繰越金	358,257	358,257	0	
会費収入	708,000	177,000	531,000	500円×354(名)
利子収入	0	12,742	△ 12,742	
広告代	156,000	132,000	24,000	創刊号 120,000No.2
同窓会総会収益	818,039	1,265,170	△ 447,131	
合計	2,040,296	1,945,169	95,127	

項目	52年度予算	52年度決算	差異	備考
人件費	105,000	75,000	30,000	事務局5,000※15
通信費	10,600	24,940	△ 14,340	総会役員会の通知
備品消耗品費	0	31,680	△ 31,680	会長、名誉会長印テープ
印刷費	25,200	123,200	△ 98,000	原稿用紙、封筒、カード 裏紙、リコピー
会議費	170,000	137,228	32,772	総会準備役員会
同窓会々報発行費	277,900	552,915	2,885	同窓会々報、会報編集御礼、 編集会議、会報発送費、原稿 依頼、会報発送アルバイト
名簿編纂関係費	222,800	9,860	212,940	名簿資料依頼通知
同窓会規約細則改善費	26,600	0	26,600	
52年度収支予算編成費	18,300	0	18,300	
学校行事協力費	192,000	184,800	7,200	卒業記念品53年卒業生名簿
慶弔費	30,000	25,000	5,000	弔15,000 病氣見舞2件10,000
小計	1,506,300	1,164,623	341,627	
予備費	533,996	0	533,996	
次年度繰越金		780,546	△ 780,546	
合計	2,040,296	1,945,169	95,127	

C 同窓会と在校生の代表との座談会、毎年二月に実施

(ホ) 母校の諸行事に対する協力

中村副会長より五十三年度の協力は次の項の説明がありました。

a 卒業生に対して卒業同期生名簿の配布並びに記念品を贈呈しました。

b 体育、文化関係の諸団体、諸行事に対して賛助、並びに褒賞、祝金等の贈呈を行ってまいりました。

(ハ) 五十三年度総会について

野村副会長より五十三年度総会については昨年十三年振りに盛大に総会を開催したばかりです。毎年総会をやったのでは準備する方はバテしてしまうので今年はこの委員総会をもって総会に代えさせていただきます。従って諸議案については総会に準じて決定処理いたして居ります。

第四議案 「昭和五十三年度収支予算計画について」

大木財務委員長より別掲予算書の通り報告説明がありました。が会費収入が年次の卒業生に限られていた点に問題もあり、同窓会の事業も順次活性化しての折、委員からも同窓会役員からの年会費徴収方法靈活な意見も出され五十四年度総会までに検討される事になりました。

第五議案 「同窓会慶弔見舞金規定について」

大木財務委員長より内規の説明があり、あくまでもその必要性範囲及び金額は役員会で決定するも

のだが原則として規定づける。

法政大学第一高等学校同窓会

慶弔見舞金内規

第一条 この内規は法政大学第一高等学校同窓会慶弔見舞金内規と称する。

第二条 会員及び母校関係の慶弔あるいは病氣等に対する慶弔金又は見舞金はその必要性範囲並びに金額を役員会で決定するが原則として第三条の各項により行うものとする。

第三条

祝金 本人 一万円
弔慰金 本人 一万円
配偶者 子女、父母 一万円
見舞金その他 本人 五千元、一万円

第六議案 「五十四年度総会準備について」

中村副会長より五十三年度総会については本日の委員総会をもって総会にかえます。五十四年度総会は五十四年六月を目途に見今より準備にとりかかります。高準備推進のため、細則(三)にもとづき総会準備委員長、総会準備副委員長を推挙しますが、役員会の推薦により野村副会長を総会準備委員長に推挙致しますので皆様の御承認をお願い致します。万場一致で野村準備委員長の承認を得たので倉沢会長が委嘱しました。高準備副委員長については野村委員長の委嘱に一任されました。

恩師大いに語る

相互のきづな

昭和五十三年九月十九日(火) 午後四時より新装なつた法政・高会議室に於て母校の先生と同窓会執行部との座談会を開催致しました。

出席されたメンバー
法政一高(恩師)

馬場 昌 平校長
明石 信 夫 先生
飯 郷 茂 先生
万代 治 郎 先生

同窓会
会長 倉沢 豊 丸
副会長 野村 光 一

司 会 総務委員長 岩村 元 雄

司会 本日は皆様お忙しい所御参集いただきましてありがとうございます。同窓会の昭和五十三年度事業計画の中に「母校と同窓会との連携を深め相互の意志の交流を図る」事が挙げられまして早速今日の座談会になったわけです。まず同窓会から昨年の総会以降の活動状況は如何ですか。

同窓会 本日の座談会には参加希望者は沢山居たのですが時間都合が悪く小人数になってしまいました。

しかし母校と同窓会の意志の交流を図る事が出来た事は大変感謝致します。相互に腹藏のない座談を致しましょう、同窓会は昨年の総会以降会報を一号、二号と発刊し母校と同窓会をして同窓生相互の結びつきをより密着させる事が出来ました。会報の題字は馬場校長執筆で大変お世話になりました。名簿の発刊も大きな事業でして充実化に努力中で来年総会自注に発刊の準備をして居ります。規約

同窓会、PTAの熱意には本当に頭が下る。
法政一高の評価が社会的にも高いのは生徒の成績向上もさることながら、皆様の協力があったからこそと感謝して居ります。

本年四月の入学状況をお知らせすると高校は募集人員二七〇名の所志願者、二五四名約五倍の競争率です。周辺の中学からもレベルが高いと評価されております。法政大学への推薦入学も四七年五三%だったのが五一年以降毎年七%台とハイレベルになっております。

又、今年から国公立を受験しても推薦からはずさないようしました。今年は大東・東工大に入学した生徒もいましたよ。

司会 本年三月に卒業生と座談会を開いた時部室が無いと云う意見も出ましたが設備状況は如何ですか。

校長 五一年から特に計画を建てた事は教育環境の整備です。五十二年迄の三年間でプール等も含めて一億三千万も投資しました。目立つた所では教室、廊下、壁等を明るく環境に塗り変えたり、窓枠サッシの取付、事務室の統合、生徒会部室の移転、グラウンドの排水設備の整備等です。今後も年次計画をもって教育環境の整備を続けて行きたいと思つて居ります。

同窓会 学校の組織はどのようになって居りますか。

校長 学校には校務分掌があつて校長と運営委員会で校務を司つて居ります。本日出席の明石、飯郷両

先生は運営委員です。その他学科ごとの教科委員会、学年委員会、学務委員会、生徒委員会、教育研究委員会、PTA委員会等がある同窓会、同窓会担当の委員(先生)はどの位なつて居りますか。

先生 PTA委員会の先生が同窓会、体育後援会も含めて担当窓口になつて居りますがPTAの方が多忙な為どうしても窓口を事務局の万代先生にお願いしてしまふ。

校長 校務分掌で同窓会担当の先生を決めるのはどうかと思う。本校には同窓生の先生がかなり多い訳だが同窓会の役員会とか委員会に私が出席しても先生は誰も出席していない。他に職業を持つて居る人が母校の為に時間を割いて活動して下さつて居るのに同窓の先生が出席されないのはまづい

司会 同窓会の当初は学校の先生で同窓生のグループと見なして理事にもなつたが時間が過つうちに理事の解釈もむづかしくなつて来

先生 同窓会の当初は学校の先生で同窓生のグループと見なして理事にもなつたが時間が過つうちに理事の解釈もむづかしくなつて来

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

先生 同窓会の当初は学校の先生で同窓生のグループと見なして理事にもなつたが時間が過つうちに理事の解釈もむづかしくなつて来

ので先日寺本先生にその事情を話しました。そしたら同窓の先生の中には出席しなければいけないなと思つて居られる方も居るらしい、しかし出席すると学校代表みたい

先生 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい

同窓会 同窓会としては校長の意見と全く同じで母校の発展を願う同窓生の先生が何故同窓会の役員会に出席しないのか……但し今の話で位置づけに問題があるみたい



委員でなければ……
校長 同窓会の行事は学校の決済がからむ事が多いので即答出来るのは校長しか居ない。校長以外は正式に対応する組織としては運営委員会が受ける事になります。
同窓会 同窓会執行部としても学校の先生である事より同窓会役員として会に出席してもらふ事を望んで居ります。今迄は執行部にも甘えがあつたかもしれない、と云う事は理事として学校の先生が同窓会役員会に出席されて決議されると学校側もOKが出た様に解釈した事もあつたので反省します。

同窓会 学校から同窓会への提言はありませんか。
校長 私人を述べて恐縮ですが盛大な総会や事業活動をしている割には財政が貧弱ですね、卒業時に終身会費を払つと云う事が同窓生の意識を薄くさせて居るのでないか、やはり組単位で年会費を吸い上げて来る様になつては……毎年年会費を支払う事によって同窓生である意識も強くなつて来ますよ。

同窓会 はからずも今般同窓会でもこの会費問題が持上りまして十月の役員会で論議する事になると思いますが……会費のあり方について検討を加える事になります。理想としては校長の云われる年会費吸上げ方式だと思つて居りますが現状の組単位組織が同窓会との結びつきに定着させていかなければ……と思つて居ります。現状の終身会費二千元を入会金一千元年会費一千元に取敢ず定めたら如何か

同窓会 はからずも今般同窓会でもこの会費問題が持上りまして十月の役員会で論議する事になると思いますが……会費のあり方について検討を加える事になります。理想としては校長の云われる年会費吸上げ方式だと思つて居りますが現状の組単位組織が同窓会との結びつきに定着させていかなければ……と思つて居ります。現状の終身会費二千元を入会金一千元年会費一千元に取敢ず定めたら如何か

同窓生・母校 母校・同窓会

と思つています。

先生 我々の卒業時には同窓会費を払ったのかな、あまり記憶がないです。

司会 私の卒業時にはまちがいないく払いましたよ。もう同窓会の組織がありません。組織と云えば名簿も不備な学年や組がありませんが卒業後の追跡調査はなかなかむづかしい様です。

先生 同窓会の総会は隔年だけですが先生の中にもクラス会に参加される方が居られるのでその時に名簿の用紙をお渡しして幹事の方に住所氏名を書き入れていただいて事務局に送信してもらうのもう少し明確な部分も出て来るのではないですか。

同窓会 確かに先生方に協力していただくのも良い方法ですね、早速お願い致します。同窓会としても今迄辺の拡大についてのPRが不足していた様に思われる。例えば今年三月に新会員の組委員との座談会をやったのですが、貴方達が自分の組の会員をつかりと把握して同窓会に結びつけて欲しいと頼んだら委員総会にも出席してくれましたよ。やはり新会員への意識徹底が必要ですね。

校長 同窓会員一万一千名の内、半分の六千名が明確になつて年費一千万を納めれば年間六百万円集まるのだから大きな事業も出来るし、同窓会館でも建てられる。まあ当面同窓会の役員会等で学校を使用されるのは一向に差支えありませんから……。

息子の受験

同窓会 最近法政一高の入試についてはレベル向上もあって非常にむづかしいと云われている事は先程校長の説明でもよく判りますが同窓生の息子が受験する場合何か特典はありませんか。試験問題の傾向を教えるとか……

先生 同窓生の息子だから特別にと云う訳にはいかないと思つて、五十四年度も入試説明会を開催致します。十一月十八日(土)十二月二日(土)十二月十六日(土)の三回にわたつて志願者と父母に受験の参考となるような資料の一部を紹介しています。その時に同窓生である事を申し述べていただければそれに対応出来ると思つています。

校長 同窓生の子弟が受験して下さる事は学校としては大変ありがたい事です。最近法政一高の入試についてはレベル向上もあって非常にむづかしいと云われている事は先程校長の説明でもよく判りますが同窓生の息子が受験する場合何か特典はありませんか。試験問題の傾向を教えるとか……

たい事で尊重します。しかし特定の先生に頼んでも先生も困つてしまつたらどうから窓口と同窓生である事を明記してもらつて入試前の勉強方法等相談に応じたら良いと思つて。

先生 従来から同窓生の子弟だからと声をかけてこられた方は入試相談でかなり突込んで説明をしています。しかし入試当日には同窓生で息子をよろしくと云われても入試の指導も出来ない、あくまでも合格点とはつてもらわれない……。

同窓会 同じ合格点なら同窓生の子弟を入学させるくらいの優位性はあるでしょう。

先生 現状は三百名募集で合格点同位が出たら同位者は全員入学させて居ます。その為入学者三百八



名と云う様な数字が出るのです。同窓会 事業計画の中で学校に対する協力と云う項目があるので、今年は十百万円の予算をとつてありますので体育、文化部門で貢献した部と生徒が対象になるのですが運営委員会で検討していただきたいのですが……。

先生 記念として残る様なものを考える様にしましょう。

同窓会 OBとしては野球はやはり強くなつてもらいたい、入試の成績云々はあつてもういらない、成績云々はあつてもういらない、成績云々はあつてもういらない……。

校長 アメリカでは生徒の集団はいろいろなレベルの集りの方が好ましいと云う思想があり、入試に於ても成績の良いレベル、スポーツで秀でているレベル、文化部門で秀でているレベルの生徒を集める事によつて教育環境を良好にさせている。本校に於ても入試概念に対して発想の転換をすればスポーツ選手を入学させる事が出来る。現状の制度が長い歴史もあるのだから脱皮しない面もある。確かに校長の云われる発想の転換をすれば別だが……それに過去にスポーツ選手を受け入れた生徒が成績だけではないレベルの低さで退学した悪い例がある。

同窓会 我々社会人になると机の上の勉強だけでなく、体育をいかに自分に取り入れたかが勝負になつて来る……。

て来る……。

先生 学校スポーツに対して冷たくなつたと云う偏見がある様です。これだけは今迄同様学校としても野球部には甲子園に出場してもらいたい他の部門も活躍してもらいたいと思つていますので誤解のない様をお願い致します。

同窓会 とにかく野球部が強くなりたいとOBはなかなかおさまらない。

先生 在校生は卒業生がどんな職業で活躍しているのか非常に興味を示している。日頃から同窓生は社会の荒波に生き生きと人間味のある骨おしみな生き方を示して活躍をされていると話しているのですが、皆様のバイタリティあふれる社会生活を生徒に触れさせて欲しい。

同窓会 我々の社会生活が生徒の糧になるならばいつでもお話し合致しますが、出来ればPTAとか生徒会で主催いただければ同窓生をビックアップ致します。

昭和五十四年度同窓会総会の開催について

五十三年度総会は、五十二年六月五日吉祥寺の母校法政大学第一高等学校体育館において、盛況のうちに実施されました。引続いて、五十三年度総会は本年六月十六日、私学会館において、委員会総会を行いこれをもって総会にかえました。

五十四年度は、二年毎の総会実施の基本方針に基き、五十四年六月八日の役員会の推薦、並びに六月十六日の代表委員会の承認を得て次の通り選出されました。

- 総会準備委員長 野村光一 (現副会長)
- 副委員長 加藤喜一郎 (現総務副委員長)
- 高六 桜井 勇 (現財務副委員長)
- 高六 土橋淳宏 (現総務副委員長)

- 五十四年度総会準備のスケジュールは左記の通りです。
- 役員会 (基本方針の審議決定) 五十三年十月五日(木)
- 総会準備プロジェクト委員会 (マスタープランの策定) 五十三年十月十日(月)
- 代表委員組長委員会 (マスタープランの審議決定) 五十四年一月(中旬)
- 代表委員組長委員会 (委員券の配付) 五十四年二月下旬(三月下旬)
- 総会実施 五十四年五月下旬
- 総会実施 五十四年六月

昭和53年度収支予算書

(昭和53年4月1日～昭和54年3月31日)

法政大学第一高等学校同窓会

収入の部

科 目	53年度予算額	摘 要
前年度繰越金	780,546円	
会 費	700,000	350名×2,000
広 代 代	72,000	($\frac{53}{54}$ 、 $\frac{10}{3}$ 、 $\frac{1}{1}$) 会報3,000×12×2回
合 計	1,552,546	

支出の部

科 目		53年度予算額	内 訳 額	摘 要
項 目				
		円	円	
経常費	人 件 費	339,400	105,000	事務員の給与 7,000円×15ヶ月
	通 信 費	105,000	6,000	役員会・理事会通知50名×40円×3回
	印 刷 費	24,000	18,000	委員会 300名×20円×3回
	会 議 費	50,400	7,200	会議資料40円×3枚×2回
		160,000	43,200	会議資料委員総会40円×3枚×120名×3回
			60,000	会合経費、役員会理事会 30名×1,000円×2回
			100,000	会合委員総会 100名×1,000×1回
事業費	同窓会報発行費	1,054,400	270,000	会報第3号、第4号 3,000×45×2回
		530,000	200,000	郵送代50円×2,000部×2回
			45,000	封筒代5×2,000部×2 コピー代5,000円、 宛名書 2,000枚×5円×2
	名簿編纂関係費	222,800	15,000	編集会議会合経費 500円×6名×5回
			50,000	編纂会議 5名×500円×20回
			4,800	委員会通信費 120名×2回×20円
			168,000	委員会議経費 120名×700円×2回
規約・細則関係費	6,600	5,000	会議経費500円×5名×2回	
		3,000	1,600	印刷代20部×40円×2回
53年度収支予算編成費	3,000	3,000	会議経費500円×3名×2回	
学校行事協力費	292,000	72,000	卒業同窓生名簿配布 400部×180円	
		120,000	卒業生に記念品贈呈 400名×300円	
		100,000	学校関係賛助並褒賞、祝金等	
慶弔費	慶 弔 費	30,000	30,000	慶弔・見舞金
	(計)	1,423,800		
	予 備 費	128,746		
	合 計	1,552,546		

同窓会便り

商業三期会

西沢稜威雄

昭和五十三年九月十三日、日比谷公園内の松本楼に於いて、商業三期生が母校々長馬場昌平先生、恩師の現法政大学助教江口智先生、法政一高同窓会々長倉澤豊丸氏の来賓を迎えて、当夜は、国鉄のスト騒ぎに加えて台風接近の影響で毎回五〇名程度の出席者を誇っていた会合も、今回は半数の出席にとどまったが、速くは岩手、宮城からこの会の為に駆けつけて呉れた熱意に会は六時半、西澤幹事の司会進行が始まり、西田幹事の開会の辞から、都内有数の名門校である母校の近況報告を馬場昌平校長から、そして、一万余名の同窓会員を持ち活発な活動をしている同窓会のあゆみを倉澤同窓会長が、また昭和十一年の開校以来五十二年で四〇年の長きにわたり、兄であり、父の役割を果たして下さって母校の歴史とともに歩まれた。江口先生の感銘溢れる話が続き、やがて、公園も暮色の濃さを増す頃、宴もたけなわとなり、卒業以来永い間、それぞれの道に励んで風格も増して年輪の重厚さを感じさせてマイクの前に立った出席者は戦争下に灰色の青春を学業にと数々の想い出を美しい緑の木立とともに校舎を外濠の池面に映した富士見町時代の回想(創立当初の

母校は現在の吉祥寺ではなく、市ヶ谷の大学の敷地の中にあつた)に現在の身上報告を早い結婚の者で孫の話題やら適令期の娘の結婚の相手募集の依頼等、満場和やかな雰囲気の中に、会も進んで、記念写真の撮影、校歌の斉唱を経て卒業した。



て、いっ幹事の閉会の辞に午後九時過ぎ閉会、同窓会への積極的な協力を今や社会の第一線で活躍している年代として大いに貢献することを誓って、散会した。

商業三期生一同の詳報

法政第一高等学校の前身は中学校と商業学校であるが、法政中学校に対し、商業は何故か法政大学商業学校と大学の名前を付している。三期生は昭和十三年に二〇〇名が入学、やがて戦争も苛烈となり、戦時動員令によって、学業を短縮し、昭和十七年十二月に一七〇名が卒業した。

三期生の現況は昭和五十三年八月三十一日現在

(1) 健在で活躍中の者 一〇二名

(2) 死亡(戦死者を含む) 六〇%

(3) 消息不明 九%

五十三名

三十一%

一七〇名

次に活躍中の職業は

合 計

合 計

一〇二名

早いもので本年も余すところ二ヶ月足らずになりました。十三年ぶりに開かれた五十二年同窓会総会から一年半になつていまして、そして去る六月の委員総会で五十四年度同窓会総会の企画が討議され、既に新準備委員長はじめ各委員の活動が開始されて居ります。同窓会総会が隔年毎に開かれるの目的が、私達の同窓会の前途を大変明るいものにして居ります。云い換えれば新装なつた法政一高同窓会丸という名の船が再び大洋に向け希望をもって出帆したのです。しかしこの航海、少々前途多難の旅となりそうです。それは、セーラーは腕利き揃いのな

同窓生

牧島光男リサイタル

同窓生牧島光男氏の芸歴書が届けましたのでご紹介致します。本名糸山雅章昭和二十六年二月法政一高二年修了時に中退、当時担任は正木信一先生、二十八年五月橋演舞場にて初舞台、二十八年五月北条秀司先生より京塚昌子と並んで助演技賞を受く。三十六年TBS「週刊やぶらにらみ」に半田悌三とコンビでレギュラー出演。五十年十二月六本木自由劇場で第一回リサイタル。フジTVに変身コミック紹介さる。五十二年五月同劇場で第二回リサイタルNET「芸能ロタリー」で紹介さる。高本年十月二十七日(金)一十九日(日)池袋シアターグリ

名簿編纂委員会より

名簿についてお願い。

五十三年度の事業計画に名簿の編纂が挙げられており、この完成は会員一同が、ひとしく待望するところであり、前回発行より十数年にわたったブランクの痛手はあまりにも大きく、名簿編纂委員会はその作成に苦慮しておりますが、先般開催されました委員総会議案で承認されました方針にもとずき鋭意準備をすすめてまいります。

現在の進行状況をお知らせしますと、事務局において、一万二千枚のカードを購入し全卒業生の氏名を記入し終り、各学年委員を通じ、名簿作成資料の調査名表を発送いたしました。その回収率は必ずしも順調でなく、名簿作成に重大な支障をきたしています。この回収率は即、名簿の内容に及びくものであり、会員諸兄のご協力を切望いたします。なお調査名表でなくとも、クラス単位でまとまっての供給源であります。その額も母校のお骨折れにより本年度から増額されて居りますが予算表を御一覧頂ければお判りの様にとでも

発行は五十四年六月目途としていますが名簿の作成は編纂委員会のものだけがどんなに頑張っても出来るものではありません。会員諸兄のご協力があることで、そのご協力の紙面を借りお願いする次第です。

財務委員会より

早いもので本年も余すところ二ヶ月足らずになりました。十三年ぶりに開かれた五十二年同窓会総会から一年半になつていまして、そして去る六月の委員総会で五十四年度同窓会総会の企画が討議され、既に新準備委員長はじめ各委員の活動が開始されて居ります。同窓会総会が隔年毎に開かれるの目的が、私達の同窓会の前途を大変明るいものにして居ります。云い換えれば新装なつた法政一高同窓会丸という名の船が再び大洋に向け希望をもって出帆したのです。しかしこの航海、少々前途多難の旅となりそうです。それは、セーラーは腕利き揃いのな

編集後記

昨年十月に創刊号発行以来早くも一年が過ぎました。会報も第三号発行となり母校と同窓生のあるいは同窓生相互の心の絆として役目を果たしているに幸わい。編集委員の赤沼啓二郎氏が高松に転勤となり欠員募集して居ります。編集委員、岩村元雄、加藤喜一郎、松崎和夫、赤沼啓二郎、佐藤貴志

母校・同窓会の発展を祈る

武田屋の

あんみつ・ところてん・くづもち

積田見孝

TEL 江戸川区松島三十一
六五五〇〇七三
(名簿編纂副委員長
旧制中学七・八期卒業)

恵比寿食糧協同組合

桜井勇

自宅 川崎市多摩区生田五五五
TEL 〇四四一九二一六六七九
勤務先 四六三一七九一一
(財務副委員長
商業七期卒業)

竹之内商事(株)

松崎和夫

キャノンハイツ
自宅 調布市調布ヶ丘二一三二五
TEL 〇四二四一八七二二四二
勤務先 九一八一二四七一
(総務副委員長
商業八期卒業)

チーエヌ紙製品(株)

山田舜一郎

自宅 川崎市未広町二一三二四
TEL 〇四九二一三三三四〇八
勤務先 二五三一五六五六
(財務副委員長
高校三期卒業)

大正海上火災保険(株)

自動車営業部

土橋淳宏

自宅 三鷹市上連雀一六二〇
TEL 〇四二二一五一八五〇七
勤務先 二三三三一一一(代表
(総務副委員長
高校六期卒業)

明治生命保険相互会社

千代田支社 日比谷営業所
所長 上条武彦

自宅 鎌倉市津一四七一三二
TEL 〇四六七三三〇七四四
勤務先 五七四一六七二一七
(総務副委員長
高校九期卒業)

丸善石油(株)特約店

(株)森油店

常務取締役 峯田義章

中央区新川二一十六一十
TEL 五五三三三〇一
(高校四期卒業)

(株)初田商店

和洋酒食料品販売

代表取締役 初田稔

中央区八丁堀一四一八
TEL 五四一四四七五
(高校八期卒業)

法政大学第一

中・高等学校教諭

国語科 正木信一 (中学二期)

明石信夫 (中学二期)

数学科 村尾和夫 (中学四期)

松尾豊 (高二期)

長妻謙至 (高五期)

理科(生物) 小林真能 (中学七・八期)

芸術科(音楽) 木村勇三 (高三期)

保健体育科 若橋保男 (高八期)

英語科 福島明 (商二期)

永田貞雄 (高四期)